

CDR-080D
LED Cube Speaker

CDR-050D
LED Active Speaker

はじめに

この度はお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。

※この取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用下さい。

※本取扱説明書には保証書が付属していますので大切に保管して下さい。

※付属品をお確かめ下さい。



目次

製品仕様	1
安全上のご注意	2
コントロールパネルについて	3
リモコンについて	4
Bluetooth 機能について	4
FM ラジオ機能について	5
USB メモリー / microSD カードについて	5
リピート機能について	5
録音機能について	5
TWS 機能について	6
ワイヤレスマイクについて	6

製品仕様

最大出力 : 80W

インピーダンス : 4Ω

センシティビティ : 82±3dB

周波数特性 : 70Hz ~ 18KHz

S/N 比 : ≥70dB

ウーファー : 5 インチ

ツイーター : 1 インチ

Bluetooth 名 : CDR-080D/CDR-050D

Bluetooth バージョン : 5.0

ワイヤレスマイク周波数 : 261.8MHz

FM ラジオ周波数帯 : 76-108MHz

電源 : DC9V 1.5A

バッテリー : 7.4V 2200mAh

充電時間 : 約 6 時間 (※使用環境による)

連続使用時間 : 約 2.5 ~ 3.5 時間 (※使用環境による)

再生可能ファイル形式 : MP3/WAV/WMA/APE/FLAC

USB メモリー / microSD カードの対応容量 : 128G まで

本体サイズ : 約 D232×W242×H280mm

本体重量 : 約 2.6kg

■付属品

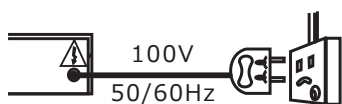
ワイヤレスマイク ×1(電池別売)

リモコン ×1(電池別売)

AC アダプター ×1

取扱説明書 (本書)×1

安全上のご注意



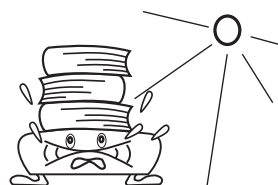
100V以外の電圧では使用しないでください。
※火災、感電の原因となります。



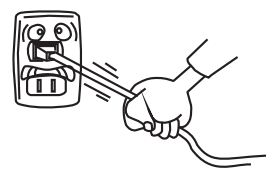
濡れた手で電源アダプタを抜き差ししないでください。

濡れた場所や雨の中、または表面に液体が溜まる可能性のある場所に本製品を置かないでください。

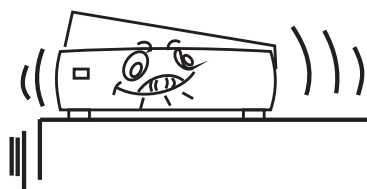
水やその他の液体が入った容器を本製品の上に置かないでください。



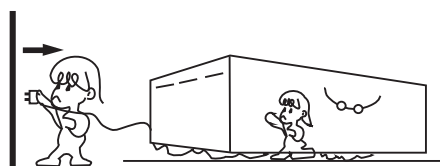
本製品の上に物を置かないでください。
本製品は負荷に耐えることができません。
直射日光を避け、ストーブなど熱くなるものから離して置いてください。
湿気やホコリの多い場所や、高温になる場所には置かないでください。



電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。
抜く時はコードを引っ張らずに、必ず電源プラグ本体を持って抜いてください。

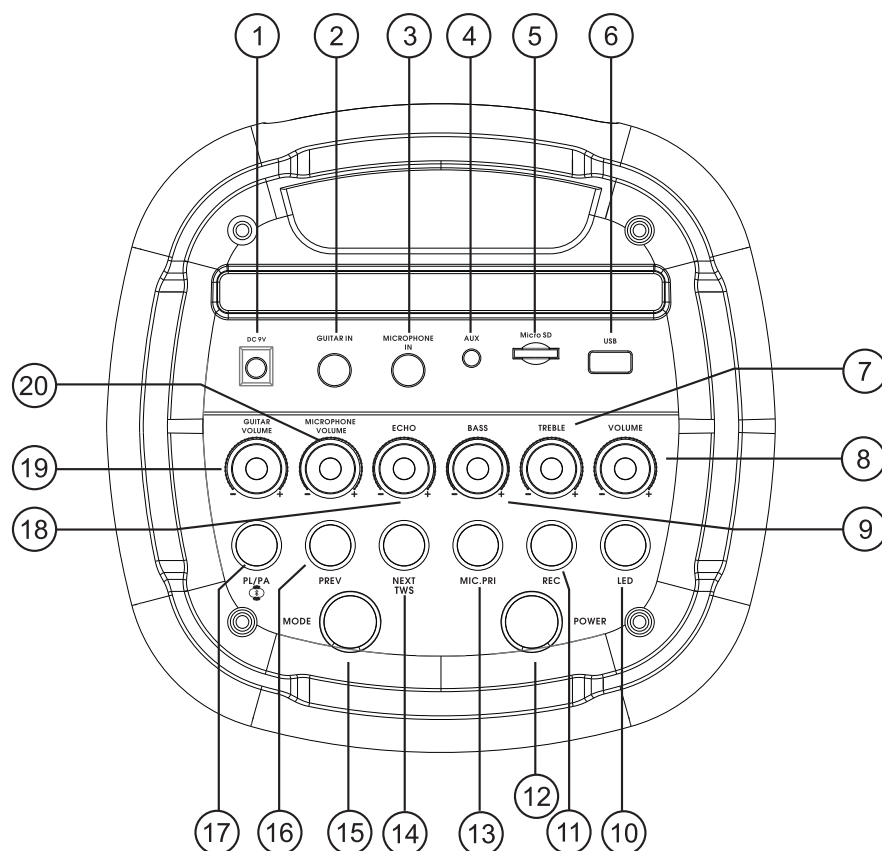


絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。
※火災、感電の原因となります。



長時間使用しない時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
※火災の原因となります。

コントロールパネルについて



1…DC9V/1.5A アダプター入力端子

2…ギター入力端子

3…マイク入力端子

4…AUX 入力端子

5…microSD カード端子

6…USB メモリー端子

7…TREBLE(高音) 調節つまみ

8…音量調節つまみ

9…BASS(低音) 調節つまみ

10…LED ボタン

短押しでパターン切替

長押しで ON/OFF

11…録音ボタン

短押しで録音したワイヤレスマイクの

音源を再生

長押しでワイヤレスマイクからの音を録音

12…電源 ON ボタン

長押しで OFF

13…マイク優先ボタン

※音楽再生中にマイクを使用すると、音楽の音量が小さくなります。

14…次の曲へ進む /(ラジオ時) 次のラジオ局へ進むボタン

長押しで曲の早送り /(2 台使用時)TWS 接続

15…モード切替ボタン

16…前の曲に戻る /(ラジオ時) 前のラジオ局へ戻るボタン

長押しで曲の早戻し

17…再生 / 一時停止 /(ラジオ時) FM ラジオ局スキャンボタン

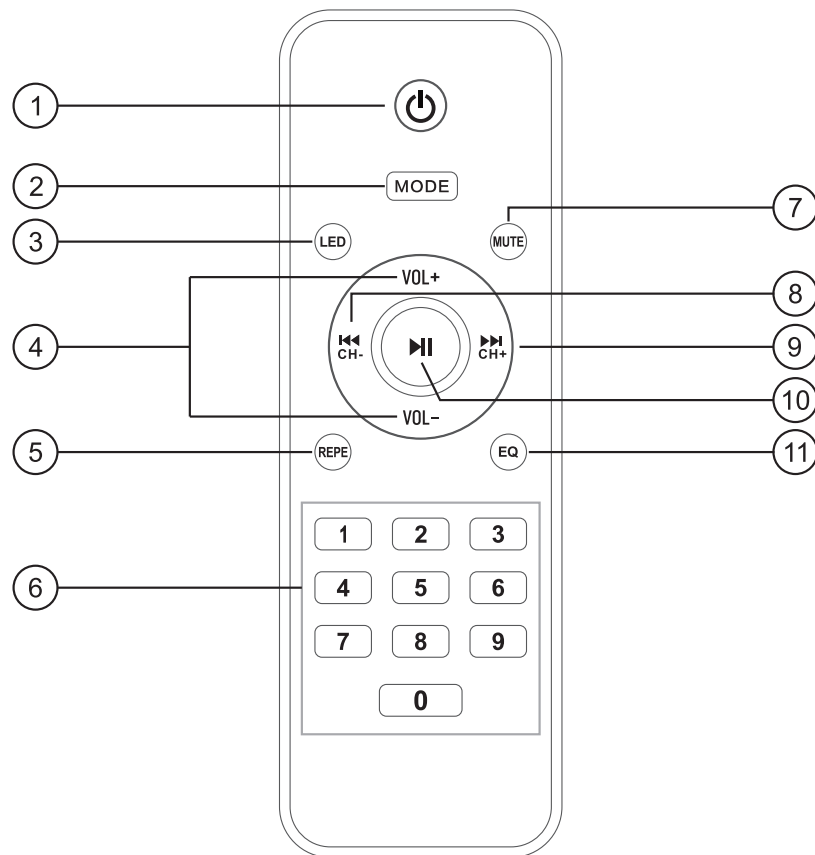
※長押しで Bluetooth 接続は切断されます。

18…エコー調節つまみ

19…ギター音量調節つまみ

20…マイク音量調節つまみ

リモコンについて



- | | |
|---------------------|---|
| 1…電源 ON/OFF ボタン | 8…前の曲に戻る /(ラジオ時) 前のラジオ局へ戻るボタン
長押しで曲の早戻し |
| 2…モード切替ボタン | 9…次の曲へ進む /(ラジオ時) 次のラジオ局へ進むボタン
長押しで曲の早送り /(2 台使用時) TWS 接続 |
| 3…LED パターン切替ボタン | 10…再生 / 一時停止 /(ラジオ時) FM ラジオ局スキャンボタン
※長押しで Bluetooth 接続は切断されます。 |
| 4…音量 +/– ボタン | 11…EQ(音質切替) ボタン |
| 5…リピートボタン (ONE/ALL) | |
| 6…トラック選択ボタン | |
| 7…ミュート ON/OFF ボタン | |

Bluetooth機能について

●スマホなどの外部機器と Bluetooth で接続する方法

- 1…本製品の電源を入れ、コントロールパネルの⑮、またはリモコン②のモード切替ボタンを押して、Bluetooth モードに切り替えます。
- 2…外部機器側の Bluetooth 機能を ON にし、Bluetooth 名「CDR-080D」、または「CDR-050D」を選択します。
接続が成功すると、スピーカーから通知音が鳴ります。
- 3…外部機器側で聴きたい音楽を選択すると、本製品のスピーカーで再生されます。

●一度接続したことがある外部機器と Bluetooth で接続

- 1…外部機器側の Bluetooth 機能が ON になっている時に、本製品のコントロールパネルの⑮、またはリモコン②のモード切替ボタンを押して Bluetooth モードを選択すると、前回接続した外部機器に自動的に Bluetooth 接続します。
※接続されない場合は、Bluetooth 接続の設定を最初からやり直してください。

FMラジオ機能について

- 1…本製品の電源を入れ、コントロールパネルの⑮、またはリモコンの②モード切替ボタンを押して、ラジオモードに切り替えます。
- 2…コントロールパネルの⑰、またはリモコンの⑩FM ラジオ局スキャンボタンを押して、76-108MHz からの信号を自動検索し、受信するとチャンネルが自動保存されます。
- 3…コントロールパネルの⑱、またはリモコンの⑧前へ戻るボタン、コントロールパネルの⑲、またはリモコンの⑨次へ進むボタンでチャンネルの切り替えができます。

USBメモリー/microSDカードについて

- 対応容量：128GB まで
- 本機は録音機能を搭載しているため、暗号化、著作権保護機能、セキュリティー対応 USB メモリー /microSD カードはご利用できない場合がございます。
- 一部の音源ファイルに関しましては、音源元のコピープロテクトにより正常に再生出来ない場合がございます。

※再生できなかった場合は、以下の方法をお試ください。

- 1…本機の電源を OFF にする
- 2…USB メモリー /microSD カードを取り外す
- 3…本機の電源を ON にする
- 4…USB メモリー /microSD カードを接続する

リピート機能について

USB メモリー /microSD カードに入っている曲を再生中に、リモコンの⑤リピートボタンを押すと「ONE…再生中の曲をリピート再生」「ALL…全曲再生」と切り替えが可能です。

録音機能について

- ワイヤレスマイクからの音声を、接続した USB メモリー /microSD カードに録音することができます。
- ※USB メモリー /microSD カードより再生中の音源は録音されません。

■録音方法

- 1…電源を入れ、USB メモリー /microSD カードを差し込みます。
- 2…コントロールパネルの⑭録音ボタンを長押しし、ワイヤレスマイクからの音声を録音します。
- 3…再度⑭録音ボタンを押すと、録音は停止され、録音した音源が再生されます。
- 4…自動的に USB メモリー /microSD カード内に「JL_REC」フォルダが作成され、録音したデータが保存されます。
※再生できない場合はパソコン等で「JL_REC」フォルダから、「第一階層目」にデータを移動させてください。

TWS機能について

●TWS 機能とは

本製品を 2 台揃えてワイヤレス接続させると、1 つ 1 つのスピーカーがそれぞれ右側と左側の音を再生する、ステレオスピーカーになります。

●TWS 接続方法

- 1 …両方のスピーカーの電源を入れ、それぞれコントロールパネル⑮、またはリモコン②のモード切替ボタンを押して Bluetooth モードを選択してください。
- 2 …音が聞こえるまで、いずれかのスピーカーのコントロールパネルの⑭、またはリモコンの⑨TWS ボタンを長押しします。
押した方がメインスピーカー（左チャンネル）になり、自動的にもう片方のスピーカー（右チャンネル）を検索して接続します。
接続されると音が鳴ります。
- 3 …外部機器をスピーカーと Bluetooth 接続します。
外部機器側の Bluetooth 機能を ON にし、Bluetooth 名「CDR-080D」、または「CDR-050D」を選択します。
接続が成功すると、通知音が鳴ります。
TWS ステレオスピーカーシステムで音楽を再生できます。

※TWS モードの時、メインスピーカーへの操作は、もう 1 台のスピーカーも同時に実行されます。

例えば、音量の上げ下げ、前と次の曲の選択、再生と一時停止、電源のオンとオフなども同時に実行されます。

4 …TWS を切断します。

TWS によって接続された 2 台のスピーカーは、電源をオンにして、両方が Bluetooth モードの場合、自動的に再接続されます。

コントロールパネルの⑭、またはリモコンの⑨TWS ボタンを長押しすると、2 台のスピーカーの TWS 接続を切断します。

ワイヤレスマイクについて

●使用前にマイクの電池蓋を開け、電池（単 3 形 ×2 本 / 別売）を入れてください。

※プラスとマイナスの向きを間違えないよう、ご注意ください。

※アルカリ乾電池をして使用ください。新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。

●マイクを使用中に、マイク音量調節つまみでマイクの音量を調節してください。

●マイクの有効距離は約 10m 以内です。

電池が消耗していたり、金属や壁などの障害物がある場合、有効距離は短くなります。

●マイクから口元までの距離を約 5 ～ 15cm、角度を約 45 度で使用することを推奨します。

●同じ周波数のマイクを近くで使用しないでください。

使用できなかったり、ノイズやハウリングの原因となります。

●Wi-Fi や Bluetooth を使用する電子機器や、パソコンなどが近くにある場合、電波の干渉がおきる可能性がございます。